

環境配慮型道路照明 オブロ2 (屋外用)

保管用

品番	適合ランプ	ポール取付		電力柱取付
		適合アーム	適合ポール	適合アーム
YAX34646S YAX34646A YAX34646H YAX34648S	CMT110~220・LR-WW/BH CMT150~220・L-LW/BH (LE-W/BH) NHT110~220・LS	YDX666 (V3YG)	建設電気技術協会 仕様標準ポール	YDX616 YDX617
YAX34636S YAX34636A YAX34636H	CM110F・LR-WW/BH CMT270~360・LR-WW/BH CMT270~360・L-LW/BH (LE-W/BH) CM150~220F・L-LW/BH (LE-W/BH) NHT270~360・LS HF200~250X			
YAX34638S	CM110~360F・LR-WW/BH (-4) CMT270~360・LR-WW/BH CMT270~360・L-LW/BH (LE-W/BH) CM150~360F・L-LW/BH (LE-W/BH) NHT270~360・LS HF200~400X			

※適合ランプについて……器具としては上記のランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するものをお選びください。(パナソニック製ランプをご使用ください。)

※ポールの取扱説明書は、別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。

器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

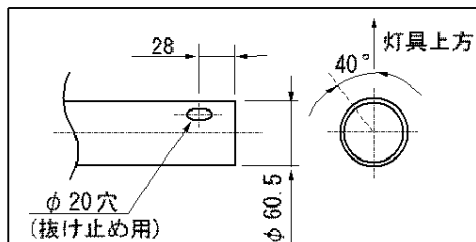
警告

- 施工は取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると発火・感電・落下・ポール転倒の原因となります。
- 接地工事 (D種接地工事) を確実に行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造は、絶対に行わない。発火・感電・落下の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所 (橋や高架上等)、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しない。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。
- 安定器別置型です。使用するランプ、電圧、周波数を確認のうえ、適正なものを選ぶ。
適正でない場合、ランプの破裂・発火の原因となります。
- ランプは器具・安定器との適合とランプの使用制限を確認のうえ、使用する。
不適合、使用制限外の場合、ランプの破裂・発火の原因となります。

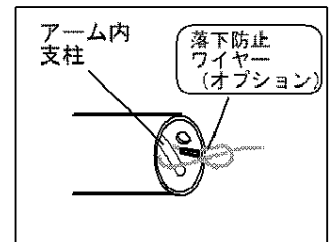
注意

- 60m/s仕様です。適合以外のアーム・ポールと組み合わせる場合にはアーム・ポールの強度確認を行ってください。
器具落下の原因となります。
- この器具は一般屋外用 (防雨型) です。それ以外の場所では、使用できません。発火・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%) 以外の電源で使用しないでください。感電・発火の原因となります。
- 器具の持ち運びや取付工事の際、リード線には張力を加えないでください。
リード線の損傷による感電・発火の原因となります。
- 周囲温度 35℃以上での使用はしないでください。
又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。不点や発火の原因となります。
- 安定器二次側の口出線を延長する場合は、600Vビニール絶縁電線と同等以上の絶縁性能を有する電線をご使用ください。使用されない場合、感電・発火の原因となります。
- 適合アームは穴加工が必要ですので予め右図の穴加工を施してください。
穴加工がない場合、器具落下の原因となります。

落下防止ワイヤー (オプション) を取付ける場合は、上記穴加工に加え右図のアーム内支柱の加工が必要になります。



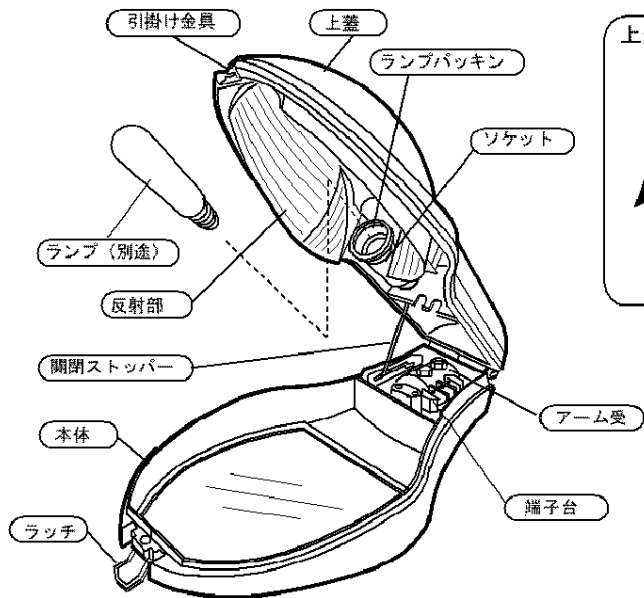
* 適合以外のアームへの穴加工方法



* アーム内支柱加工方法

各部のなまえと取付けた

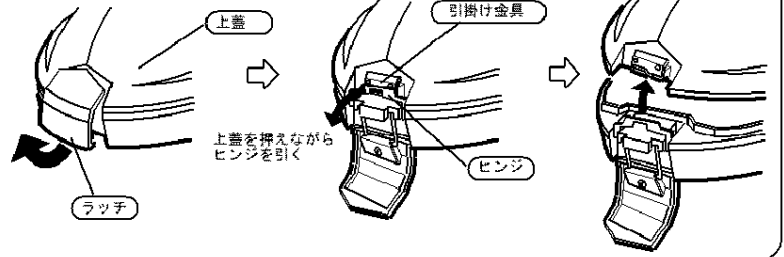
この姿図はYAX34646Sで代表しています。



1. 上蓋を開ける

- ・ラッチ・ヒンジを外し、上蓋を開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。(上蓋の開け方は下図参照)

上蓋の開け方



2. コード線押えを取り外す

- ・コード線押えを取り外す。
- ・引き込む電源線(丸型または平型ケーブル)を選定する。

*平型ケーブルを使うときのみ、抜け止めワッシャーを外して、コード線押えを逆さまにする。抜け止めワッシャーを入れる。

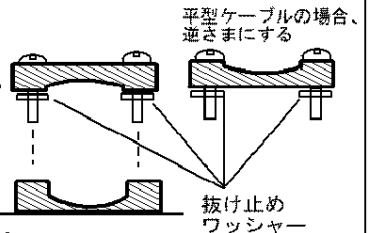
◎丸型ケーブルの場合

(梱包時は丸型ケーブル止めの状態になっています。)

外径(φ9.6mm~φ13mm)

◎平型ケーブルの場合

外径(6.2mm×9.4mm~7mm×15mm)



NHT110~220・LS使用の場合

ソケット台位置(A)

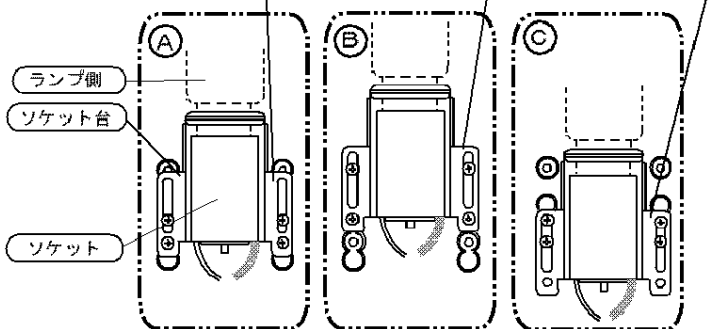
工場出荷時の取付位置

ソケット台位置(B)

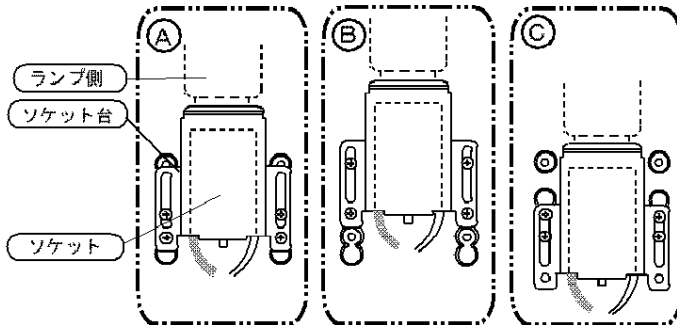
固定ネジ位置(4カ所)

ソケット台位置(C)

固定ネジ位置(4カ所)



NHT270~360・LS使用の場合



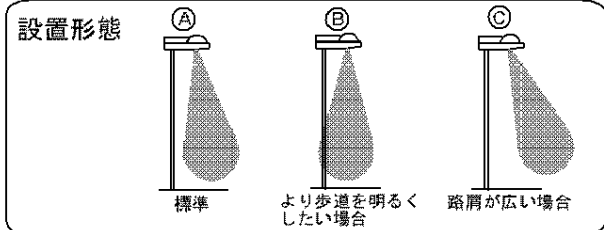
3. ソケット台を調整する

- ・設置形態に応じてソケット台を調整する。(下図・左図参照)

・ソケット台が表裏逆にならないように取付ける。
取付けの方向を間違えますとランプ破損の原因となります。

*左図はYAX34646S、YAX34646A、YAX34646H、YAX34648Sで説明しており、ソケットが見える表向きでソケット台が取付けてありますが、左下図のYAX34636S、YAX34636A、YAX34636H、YAX34638Sの場合はソケット全体が見えない裏方向での取付けが正規です。

HF200~400Xのランプ使用の場合はソケット台の調整は不要です。



4. 灯具を取付ける



警告

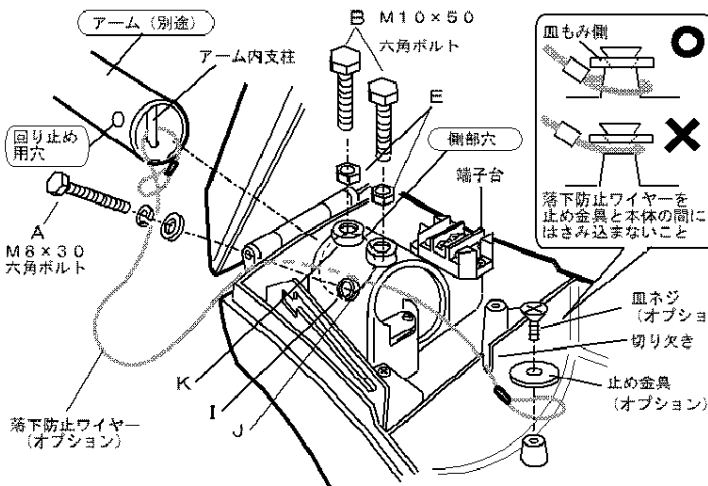
**施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。**

(注) 灯具の施工は必ず2人以上で行ってください。

- ①落下防止ワイヤーを図のようにアーム内支柱に通し、一端の輪をもう一方の輪の中に通す。

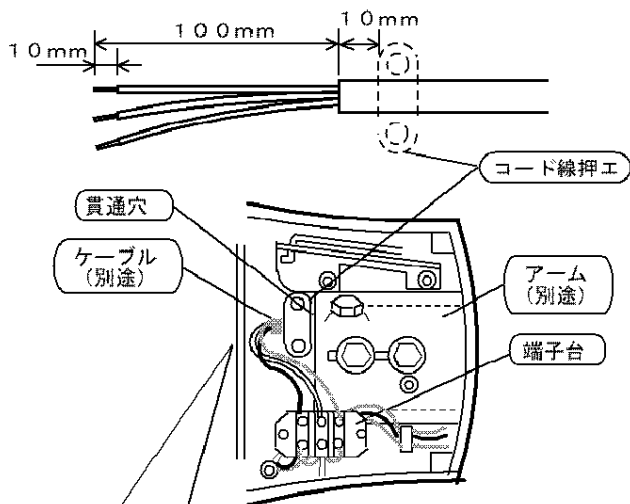
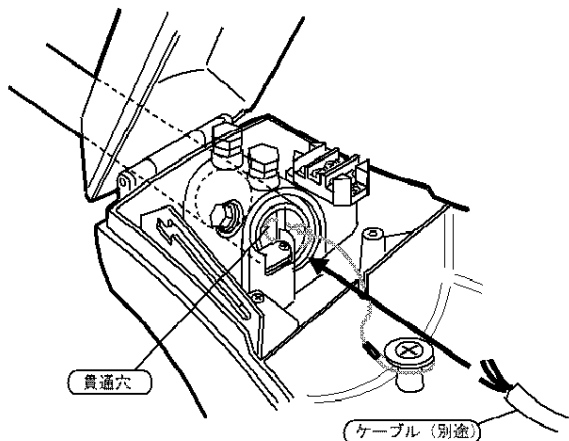
「落下防止ワイヤー」は、オプションとなります。(無い場合、落下防止ワイヤーは取り付けません)

- ②ラッチ・ヒンジを外し、上蓋を開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。(上蓋の開け方は上図参照)
- ③I・J・Kの穴に取付けている六角ボルトを側部穴にアームが差し込めるまでゆるめる。
- ④落下防止ワイヤーに付属されている皿ネジと止め金具で落下防止ワイヤーを本体に止める。
- ⑤本体側部穴にアームを差し込む。
- ⑥Aの六角ボルトをアームの回り止め用穴に貫通させ、確実に締め付ける。
(締付トルク14.7~24.5N・m(150kgf・cm~250kgf・cm))
- ⑦Bの六角ボルトを、JとKの穴に確実に締め付けた後、Eの六角ナットでさらに締め付ける。
(締付トルク14.7~24.5N・m(150kgf・cm~250kgf・cm))
- ⑧落下防止ワイヤーを必ず本体の切り欠き部に通す。
- ⑨落下防止ワイヤーをアーム内に押し込み、端子台に触れないようにする。



5. アームにケーブルを通す

- ①ケーブルは3芯ケーブル（φ2.0又は3.5mm以下）をご使用ください。
- ②貫通穴からメッセンジャーワイヤーを使い、アーム内にケーブルを通す。
- ③ケーブルの先端はボール下部の開口部から出るように下ろす。
- ④灯具側は貫通穴より出るようにして切断する。



6. 電源線・アース線を接続する

- ①灯具側端子台に取付ける側のケーブル先端の外被覆を100mmむく。（左図）
- ②R型圧着端子（R4）を電源線・アース線に取付ける。
- ③電源線・アース線を端子台に確実に接続する。
極性：左図参照
接続が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因となります。
電源線・アース線は本体と上蓋とで線をかまないように接続する。
- ④余分な電源線をできるだけアーム内に押し込み、必ずコード線押エでケーブルのシース部を押える。
（締付トルク 0.8～1.2N・m（8.2～12.2kgf・cm））

7. ランプを取付ける

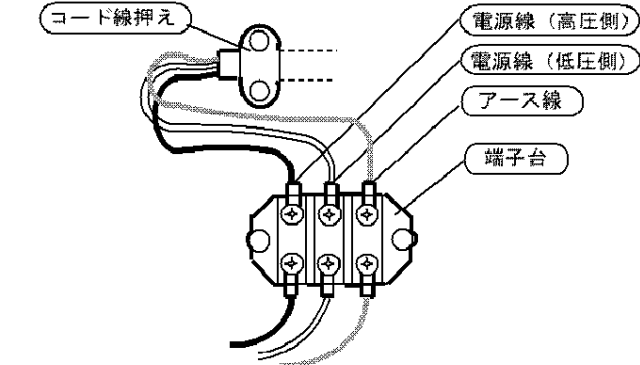
- ・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。
締め付け不十分な場合、不点の原因となります。

8. 上蓋を閉める

- ①片手で上蓋を支え、開閉ストッパーのロックを解除し、上蓋を持ちながら静かに閉める。
ヒンジが引掛け金具に確実に引掛かっていることを確認してください。
- ②ラッチを掛ける。
上蓋に衝撃を加えるとランプ破損の原因となります。

9. 安定器への接続及びアース線の接地

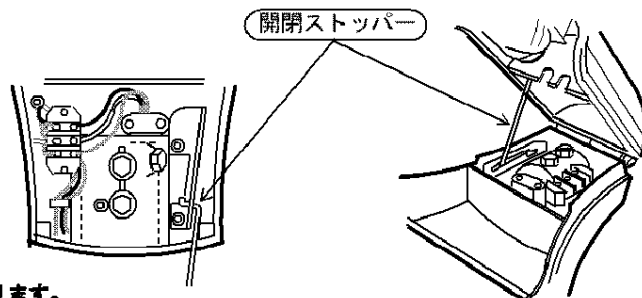
- ①安定器の銘板に表示の結線図に従い接続する。
- ②ケーブルのアース線をD種（第三種）接地工事する
接続が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因となります。



ランプ交換・点検掃除時

- ①ラッチ・ヒンジを外し、上蓋の開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。
- ②作業を行って下さい。
- ③片手で上蓋を支え、開閉ストッパーのロックを解除し、上蓋を持ちながら静かに閉める。
ヒンジが引掛け金具に確実に引掛かっていることを確認してください。
- ④ラッチを掛ける。

上蓋に衝撃を加えるとランプ破損の原因となります。
強風時は作業を行わないでください。ケガ・灯具破損の原因となります。



工事店様へ

お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録に記入し、お客様にお渡しくださるようお願いいたします。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しない。
落下・感電・発火の原因となります。
- ランプ交換は、器具、安定器の適合とランプの使用制限を確認の上、行う。
ランプの破裂・発火の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
感電・火災の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行ってください。
感電・火傷の原因となります。
- ランプ交換の際には、各部のなまえと取付けかたにしたがって確実に行ってください。
やけど・感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換をしてください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

- 1: 保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2: 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3: 補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 注意（必ず電源を切って行ってください。感電の原因になります。）

- 器具の清掃について..... 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色・変質の原因となります。
- ランプ交換について..... ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上、行ってください。（パナソニック製ランプをご使用ください）

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。
なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

〈施工記録〉

品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		